「具体的に」「ゆっくり」「やさしく」話しかけてください

●名前や連絡先のわかるものを持っていませんか？

本人がことばで言わなくても、手帳や個人カード、名札で名前や連絡先がわかることがあります。
衣服や持ち物に名前や連絡先がないか、確認させてもらってください。

●黄色のバンダナは「支援してほしい」というサインです。

混乱した状況の中では、障害のある人が必要な支援を得られなかったり、
誰が支援できるのかわからない、ということがあるかもしれません。
そこで、セイフティーネットプロジェクト横浜では、
災害時には下記の色のバンダナなどを身につけよう、という取り組みを進めています。

「支援してほしい」→ 黄色
「支援できる」→ 緑色

※障害により必要な支援は様々なので、
必要に応じてマークをつけるなどの工夫も考えられます。

●コミュニケーションボードを使ってみてください。

・絵を指しながら、質問してください。
・次の行動を伝えてから、実際の行動に移ってください。
「別の教室に移動します」「今日はここで寝ます」…など

コミュニケーションボードとは

コミュニケーションが苦手な知的障害のある方などと、
周囲の人たちとの間をつなぐ話しことばに代わるもののひとつです。
文字やことばで意思を伝えることが難しくても、
ボードの絵を指さして意思を伝えることができる人もいます。

発　行：2008年1月
発行者：セイフティーネットプロジェクト横浜
構　成：横浜市身体障害者団体連合会・横浜市の障害者施策を考える連絡会
横浜市心身障害児者を守る会連盟・横浜障害児を守る連絡協議会・横浜市自閉症児･者親の会
横浜知的障害関連施設協議会・横浜市障害者地域活動ホーム連絡会
横浜市障害者地域作業所連絡会・横浜市グループホーム連絡会・P&A研究会カナガワ
横浜市精神障害者地域生活支援連合会・知的障害者自立生活アシスタント連絡会
横浜市社会福祉協議会・横浜市
協　力：(財)明治安田こころの健康財団

事務局：(福)横浜市社会福祉協議会　障害者支援センター
〒231-8482　横浜市中区桜木町1丁目1番地　横浜市健康福祉総合センター9階
Tel.045-681-1211　Fax.045-680-1550

こちらからダウンロードできます。
http://www.yokohamashakyo.jp/siencenter/safetynet/safetynet.html
http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/shogai/index.html

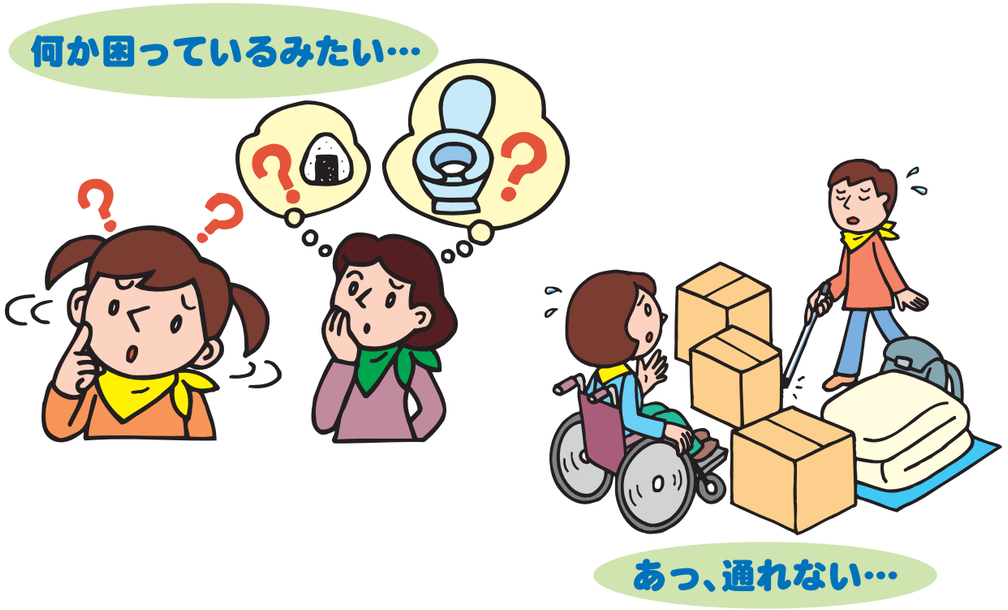
このチラシは共同募金配分金により作成されています。

わたしたちのこと知ってください応援してください

人は誰でも、住み慣れた街で暮らすことを望んでいます。
障害児・者が安心して地域で暮らすためには、
地域の方々のご理解や、ご協力が必要です。

避難場所のみなさんへ

障害のある人は、自分の気持ちや状況をうまく伝えられなかったり、
必要な情報を集められないことがあります。
災害時、障害のある人が
必要な支援や情報を得られるように、
避難場所のみなさんも応援してください。



こんなときのために・・・

避難場所のみなさんにお願いしたいこと

何か困っているみたい…。

- 困っていることをうまく伝えられない人もいます。
- 表示が見えない人や音が聞こえない人、文字やことばがわからない人もいます。

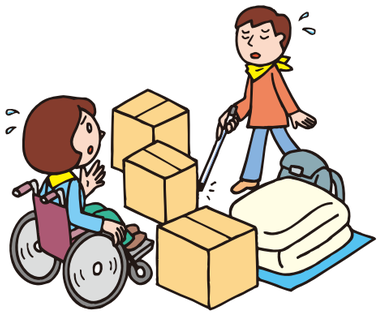
- 具体的にゆっくりと、伝わっているか確かめながら話してください。
- コミュニケーションボードを使ってみてください。
- 実物を示しながら聞いてみてください。
- 大切な情報を伝えるときは、文字と絵、ことばの3つの方法を用意してください。

並ぶことや待つことが苦手な人がいます。

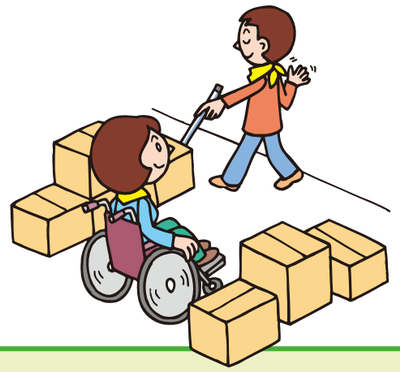
- その場の様子から判断することが苦手な人もいます。(みんなが並んでいるから自分も並ぶなど)
- 並ぶことや待つことが苦手で、待っていると不安になる人もいます。

- 列の後ろへ案内して「ここに並んでください」と伝えるなど、具体的な行動を示してあげてください。
- 場合によっては順番を譲ってあげてください。

通路を確保してください。



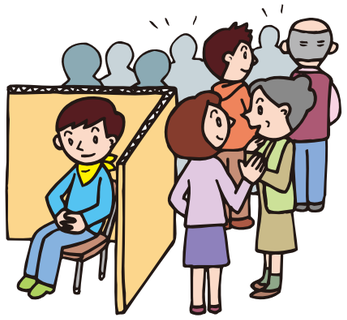
- 狭い通路や入り組んだ通路、段差により進行を妨げられてしまう人もいます。
- 歩行が不安定で転倒しやすい人もいます。



- 体育館の通路などは、車いすが通れる幅(最低90cm)以上は確保してください。また、通路には物を置かないでください。
- 誘導や介助が必要かどうか、声をかけてみてください。

気になる行動をしているけど？

- 状況の判断がつかず大きな不安を抱いたり、パニックをおこしやすくなる人もいます。
- 人ごみや大きな声・音、まぶしい光などが苦手な人もいます。



- 気持ちを落ち着かせるための行動かもしれません。しばらくの間見守ってください。
- 混乱が大きいときは、体育館以外の教室など静かな場所に移動し、落ち着くまで見守ってください。

「災害用コミュニケーションボード」趣意書

「セイフティーネットプロジェクト横浜」（以下、「S プロ横浜」）は、障害のある人が地域で安心して暮らせるよう、幅広い活動を行っています。

活動の一環として、災害用の「コミュニケーションボード」と避難場所のみなさまに向けた「チラシ」を作成しました。

誰でもが安心して暮らせる街づくりのために、多くのみなさまにご活用いただけることを期待しています。みなさまのご理解とご協力をお願いします。

2020 年 5 月

セイフティーネットプロジェクト横浜

■コミュニケーションボードとは

地域には様々な障害のある人が暮らしています。自閉症や知的障害がある人の中には、ことばだけでなく、わかりやすい絵記号や写真等を用いることで、コミュニケーションがスムーズになる人もいます。

Ｓプロ横浜では、そうしたことを広く知ってもらい、コミュニケーションのバリアフリーを広げるため、これまでに「お店用」・「救急隊用」のコミュニケーションボードの作成および普及活動を行ってきました。

■「災害用コミュニケーションボード」と「チラシ」について

第 3 弾にあたる「災害用コミュニケーションボード」は、障害のある人が避難場所等で過ごす時に、周囲の人々と必要な情報をやり取りするための絵記号等を掲載しています。「チラシ」には避難場所等で周囲のみなさまにお願いしたいポイントを記載しました。防災訓練など、さまざまな場面でご活用ください。

また、Ｓプロ横浜のホームページでは、コミュニケーションボード・カードを作ることができます。必要なイラストを選んで自由に組み合わせ、避難所の備品に追加してはいかがでしょうか。詳しくは、ホームページをご覧ください。

ホームページアドレス
http://www.yokohamashakyo.jp/siencenter/safetynet/safetynet.html
※「セイフティーネットプロジェクト横浜」で検索

■主　催：「セイフティーネットプロジェクト横浜」

障害のある人が地域で安心して暮らしていくために、セイフティーネットをつくることを目的とし、2005 年 7 月に発足。市内の 15 団体・機関で構成され、当事者や家族が、自分たちの出来ることから活動していくことを大切にしながら、さまざまな障害についての理解を進めていこうと活動している。

構成団体：横浜市身体障害者団体連合会、横浜市の障害者施策を考える連絡会、横浜市心身障害児者を守る会連盟、横浜障害児を守る連絡協議会、横浜市自閉症協会、横浜市精神障害者家族連合会、横浜知的障害関連施設協議会、横浜市障害者地域活動ホーム連絡会、横浜市障害者地域作業所連絡会、横浜市グループホーム連絡会、Ｐ＆Ａ研究会カナガワ、横浜市精神障害者地域生活支援連合会、障害者自立生活アシスタント連絡会、横浜市社会福祉協議会、横浜市

協　　力：（公財）明治安田こころの健康財団

■連絡先：（福）横浜市社会福祉協議会 障害者支援センター
〒231-8482　横浜市中区桜木町１-１　横浜市健康福祉総合センター９階　Tel 045-681-1211　Fax 045-680-1550

横浜市 健康福祉局 障害施策推進課
〒231-0005　横浜市中区本町６丁目 50 番地の 10　Tel 045-671-3603　Fax 045-671-3566

コミュニケーションボード

Communication Board　커뮤니케이션 보드　语言沟通板

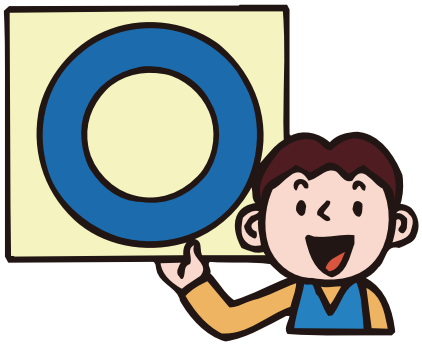
災害（さいがい）
Disaster
재해／灾害

「具体的（ぐたいてき）に」「ゆっくり」「やさしく」
話（はな）しかけてください

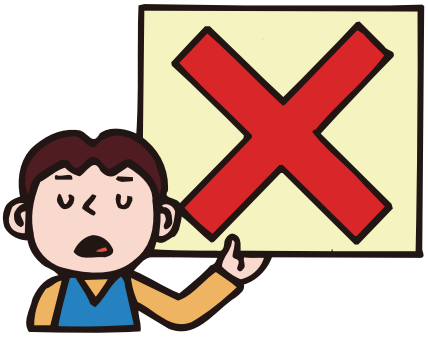
たべる
Eat
먹습니다／吃

のむ
Drink
마십니다／喝

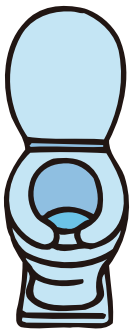
ねる
Sleep
잡니다／睡



はい
Yes
네／是



いいえ
No
아니오／不是



トイレ
Toilet
화장실／厕所

移動（いどう）する
Move
이동합니다／移动（转移）

待（ま）つ
Wait
기다립니다／等待

手当（てあ）て
Care
치료합니다／处理

黄色（きいろ）のバンダナは「配慮（はいりょ）が必要（ひつよう）」・緑色（みどりいろ）のバンダナは「支援（しえん）ができる」というサインです。

発行：セイフティーネットプロジェクト横浜

コミュニケーションボード

Communication Board　커뮤니케이션 보드　语言沟通板

災害（さいがい）

Disaster
재해／灾害

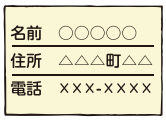
身体障害者手帳（しんたいしょうがいしゃてちょう）

愛の手帳（あいのてちょう）

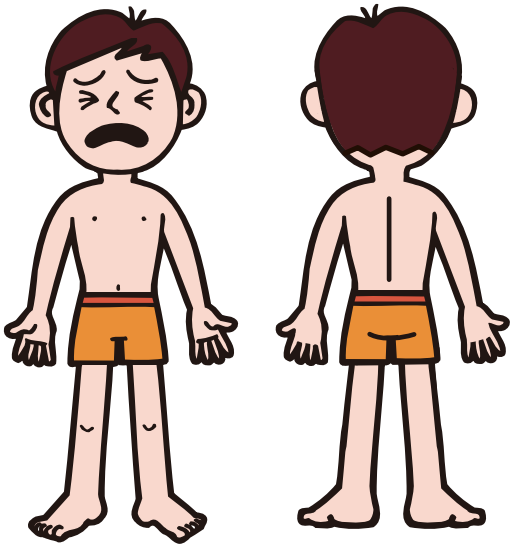
精神障害者保健福祉手帳（せいしんしょうがいしゃほけんふくしてちょう）

診察券（しんさつけん）
Registration card
진찰권
就诊卡（挂号卡）

健康ノート（けんこうノート）



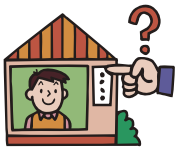
個人カード（こじんカード）



いたいところはどこ？
Where does it hurt?
어디가 아프세요?／哪里疼?

あなたの…
What is your…
당신의…／您的…

名前（なまえ）
Name
성명／名字



〒

住所（じゅうしょ）
Address
주소／地址

電話（でんわ）
Telephone number
전화／电话

書（か）いてください
Please write
써 주십시오.／请写一下

発　行：2018 年 9 月（初版発行 2008 年 1 月）　　発行者：セイフティーネットプロジェクト横浜

構　成：横浜市身体障害者団体連合会／横浜市の障害者施策を考える連絡会／横浜市心身障害児者を守る会連盟／横浜障害児を守る連絡協議会／横浜市自閉症協会／横浜市精神障害者家族連合会／横浜知的障害関連施設協議会／横浜市障害者地域活動ホーム連絡会／横浜市障害者地域作業所連絡会／横浜市グループホーム連絡会／Ｐ＆Ａ研究会カナガワ／横浜市精神障害者地域生活支援連合会／横浜市障害者自立生活アシスタント連絡会／横浜市社会福祉協議会／横浜市

協　力：(公財) 明治安田こころの健康財団

事務局：(社福) 横浜市社会福祉協議会 障害者支援センター
〒231-8482 横浜市中区桜木町 1 - 1　横浜市健康福祉総合センター９階
Tel 045-681-1211　Fax 045-680-1550